

第24期 第3回 法学委員会「グローバル化と法」分科会 議事要旨

日時： 2019年4月20日（土） 午後2時～4時

於： 学習院大学法学部第1会議室

出席者： 鮎京正訓、吾郷眞一、浅野有紀、阿部克則、金山直樹、川嶋四郎、高山佳奈子、角田猛之、土井政和、道垣内正人、中谷和弘、本多滝夫、森村進、柳原正治、横溝大（定足数を満たし成立）、（参考人）風木淳

議題

1. 前回議事録（案）の確認

既に電子メールで承認された前回議事録（案）を全員一致で確認した。

2. 参考人による報告

経済産業省大臣官房審議官風木淳氏を招いて、「グローバル化の中での産業・通商政策」をテーマとして報告をいただいた。ハイパー・グローバリゼーション、第4次産業革命、少子高齢化による日本の社会システムそのものの揺らぎなどを背景とした諸問題（外国人材・外国人労働者受け入れに関する法改正、デジタル・プラットフォームに関するルール整備、米中の技術覇権争いと通商・安全保障政策との関係などの問題）について、風木氏より説明を受けた後、活発な質疑応答と討論が行われた。

3. 今期の審議方針

今期の成果公表として出版する『グローバル化と法の諸課題—グローバル法学のすすめ』への寄稿については、未提出の原稿は遅くとも5月6日までに提出するよう委員長から要請があり、2019年中に刊行することが再度確認された。

また、今年度の分科会は、予算の制約上、あと1回行うこと、及び、日程と内容については後日調整することが了承された。